

創作投稿コーナー **しよしす**

<エッセイ> 旅行記

◆ 城めぐり ◆ (2) 佐々木 進 (S40S)

今回は四国の9名城を巡る旅に出かける計画をたて、某旅行会社の団体旅行に参加しました。2017年10月22日からの3日間でした。出発の前日の天気予報では、超大型で非常に強い台風21号が日本の南を北上中とのことでした。旅行会社からは前日の遅い時間帯に連絡があり、決行しますということだったので、羽田に向かいました。添乗員の説明では、「台風は14時くらいに上陸するので昼までに松山に着けば大丈夫」との話でした。内心は本当にそんなにうまくいくのかなぁと思っていましたが、意外とほかの方たちは平気な様子でした。

第1日目は、「今治城」「湯築城」「松山城」の3箇所ですが、案の定バスに乗り換えて、出発と同時に強い雨と風です。全員雨具の用意をしての登城です。

今治城は瀬戸内海に面する立地なので、堀には海水が引かれており広大な堀が印象に残りました。お城も層塔型の五重天守でスッキリした感じでした。この城は皆さんご存知の「藤堂高虎」が築城したといわれています。次に向かったのが松山市内にある湯築城です。但し湯築城にはお城はありません。

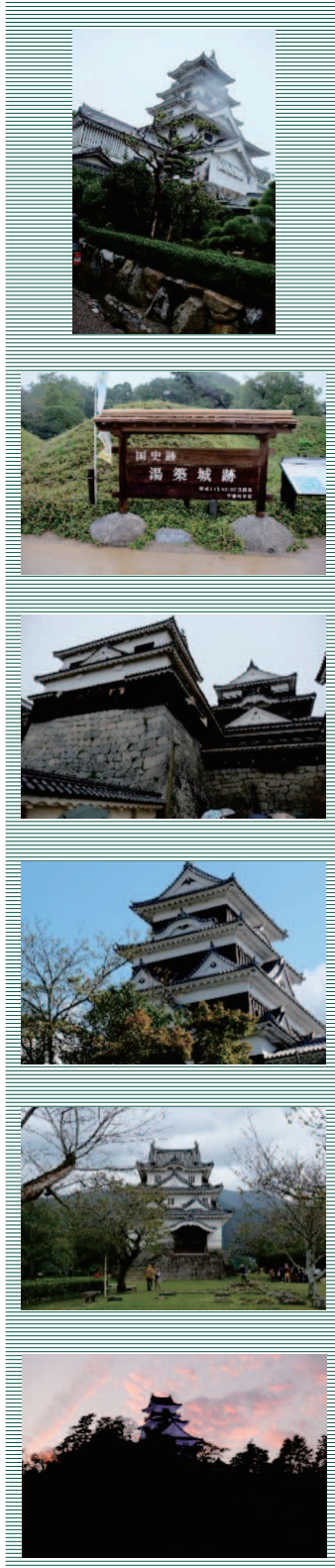
湯築城の築城年代は古く、南北朝期初頭と言われていきます。正門の右側に資料館、復元武家屋敷があり、その先には土塁展示室がありました。土塁の断面がみられるようになっており、砂利や砂で固められており、重機のない昔にすべて人力での大変な土工事を想像しました。全国的に有名な松山の道後温泉の横を通ると市内の中央に松山城があります。

今回は道後温泉に浸りながら再度来てみたいところです。第2日目は「大洲城」「宇和島城」「高知城」3箇所です。朝早くホテルを出発し松山自動車道を伊予大洲に向かいました。途中の山の斜面はミカン畑だらけです。

大洲城は平成16年に木造で再建された四重四階の層塔型天守で台所櫓と高欄櫓を従える連結式天守でもある。城の東側を流れる肱川のほとりには、大洲神伝流泳法の石碑が立っている。この泳法は全国に残る古式泳法の一つで、大洲半初代藩主の従兄弟の加藤主馬光尚が創始したといわれている。泳法の特徴は「扇足」を用いることとなっている。お昼にはドライブインで海鮮丼をいただき、少しだけお土産を購入し、予讃線の終点である宇和島に向かった。宇和島城は前述の藤堂高虎が築いた城であるが、宇和島伊達家2代宗利が寛文6年(1666)に望楼型から層塔型に修復し、千鳥破風や唐破風などの装飾性の高い城を再建したものであり、それが現存の12天守の一つである。余談ですがスターウォーズのダースベーダー卿の衣装は伊達正宗の黒漆五枚胴具足の鎧姿を参考にしているとお城の案内人の方が言われていました。この話は私も以前聞いたことがあります。何せスターウォーズの一ファンですから。2日目は遠く高知まで行かなければならず、そそくさと宇和島城を後にしました。高知城歴史博物館には午後4時ころに到着、急いで100名城のスタンプを押しに走りまわりました。南海の名城をバックに素晴らしい夕焼け時の写真を撮ることができました。

ふるさと秋田の日本海の夕焼けが懐かしく思い出されました。ホテルにザックをおいて、にぎやかなところで土佐の名酒と鰹、太刀魚、酒盗、馬刺しに舌鼓を打ちました。第3日目は、「丸亀城」「高松城」「徳島城」に行きました。駆け足の3日間でしたが、とても楽しく、充実した日々を過ごしました。

さあ、今度はどこにしようかな。



<フォト日記> 三平 俊悦 (S39A)

等覚寺



☆ 山門の天女が満開のつつじを覗て微笑む

宮崎台駅前



☆ 桜咲くのが早い 寒椿一言

朝霧高原



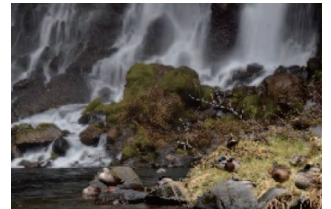
☆ 麓で雄大な富士山を眺め さぞかし美味し

千鳥ヶ淵



☆ 池の桜ライトアップ夜景 「カップル楽しむ」

白糸の滝



☆ 鴨が涼んでいる 鴨鍋を思い出す

角館
榎木内川
堤防

☆ さくらより桜吹雪に驚きと喜び